

化学分析をおこなうラボラトリ必見！ **無料セミナー** 結果の妥当性を確保できる ラボラトリであり続けるために -2023-

日時

2023年 8月 4日(金)

10:30～15:45 (予定)

※会場受講は10:00受付開始となります

場所

TKP品川カンファレンスセンター
9階 ホール9A/9B

参加形式

・会場受講 50名

(定員になり次第締め切らせていただきます。)

・オンライン受講

受講料

無 料

※会場受講者様には
お弁当・飲み物付き

お申込み

※両方へのお申込みはできません。希望する
参加方法どちらか一方へお申込みください。

開場受講の申込締め切りは7月28日までとなります。
オンライン受講の申込締め切りはございません。
ご希望参加方法のURLもしくは二次元バーコードからお申込みください。

・会場受講

➡ <https://forms.office.com/e/Kz7dxtS8Aq>



・オンライン受講

➡ <https://00m.in/fF1gR>



プログラム

【午前の部】

PFAS分析における適切なメソッド実行のポイント

ISO規格の測定法は、その開発過程でインターラボラトリトライアル (ILT) により測定法の妥当性が確認され、また、メソッド運用上の注意点が示されています。ここでは、国際標準規格ISO 21675における分析上の注意点等について、ILTの結果を交えながらご紹介いただきます。

演題①：水試料中のペルおよびポリフルオロ

アルキル化合物を測定するための精度管理要件

講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所

谷保 佐知様

【午後の部】

知っておきたいISO/IEC 17025

様々な分野においてグローバル化が進む中、

ISO/IEC 17025への注目が高まっています。

ここではISO/IEC 17025の認定様式を始め運用する
為に押さえておきたいポイントを実例を交えながら
ご紹介いただきます。

演題②：試験所認定の活用

ーフレキシブル認定についてー

講演者：公益財団法人日本適合性認定協会

田島 洋介様

演題③：ISO/IEC 17025における試験法と

試験の質の管理

講演者：セントラル科学貿易

後藤 哲久様

演題④：残留農薬分析における不確かさ

計算例のご紹介

講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所

大竹 貴光様

化学分析をおこなうラボラトリ必見！

結果の妥当性を確保できるラボラトリであり続けるために -2023-

講演プログラム詳細

【午前の部】

PFAS分析における適切なメソッド実行のポイント

演題①：水試料中のペルおよびポリフルオロアルキル化合物を測定するための精度管理要件

講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境創生研究部門 環境計測技術研究グループ
研究グループ長 谷保佐知様

概要：水試料中の30種類のペルおよびポリフルオロアルキル化合物（PFAS）を測定する方法として、国際標準規格ISO 21675が2019年に発行されている。本発表では、ISO 21675の開発の経緯と、その測定方法および質の高い分析データを得るための精度管理要件について紹介する。

【午後の部】

知っておきたいISO/IEC 17025

演題②：試験所認定の活用 –フレキシブル認定について–

講演者：公益財団法人日本適合性認定協会 技術部 ラボラトリマネジャー 田島洋介様

概要：「フレキシブル認定」は、認定を受けた範囲内で、認定機関による事前の審査を受けることなく自己の裁量で範囲を追加変更ができる、自由度と柔軟性が高い認定方法です。認定取得のメリットや、取得時のポイントなどを中心に解説いたします。

演題③：ISO/IEC 17025における試験法と試験の質の管理

講演者：株式会社セントラル科学貿易 技術顧問・Fellow FOAC International 後藤哲久様

概要：試験を実施する上でその結果の信頼性への影響が大きい試験法と質管理に関して、ISO/IEC 17025では7.2項：方法の選定、検証及び妥当性確認において、試験法の使用に至るまでに必要な事柄を、また7.7項：結果の妥当性の確保では、行った試験の結果を保証するための質の管理への要求を定めています。ここでは、試験方法を選択、検証あるいは妥当性確認の考え方、試験の質の管理における、技能試験の役割について考えてみたいと思います。

演題④：残留農薬分析における不確かさ計算例のご紹介

講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所 物質計測標準研究部門
有機組成標準研究グループ 主任研究員 大竹貴光様

概要：不確かさ評価は、分析のどのプロセスがばらついているのかを把握し、精度管理を効果的に行う手段の一つです。また適切に評価することで、分析の信頼性の程度を定量的に表すことができます。今回は残留農薬分析を取り上げ、不確かさの計算例について解説します。

【当日会場でのタイムスケジュール】

10:00 開場・受付

10:30 午前の部開始

11:40 お昼休憩

※お弁当・飲み物をご用意しております。

各社展示ブースを設けております。

昼休憩中には是非お立ち寄りください。

12:50 午後の部開始

15:45 終了

【会場】

TKP品川カンファレンスセンター

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル 9F

アクセス：JR品川駅 高輪口 徒歩3分

